

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔カメラ〕 （店長）	・カメラ写真店ということで、旅行による影響が大きい。SARSの影響が収まれば、旅行客も増え、写真の回収にもつながり、それに伴いハードの売上も伸びていく。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車販売においては、4、5月は3月までのグリーン税制の駆け込み需要の反動と、メーカー決算の落ち込みなどの反動があり、販売減となっている。6、7月には各社で低燃費低価格の新型車を投入する。
	変わらない	乗用車販売店（経営者）	・6月初めに新型車発売が予定されている。新企画を中心に動きが期待できる。
		商店街（代表者）	・6～8月までは何とかやっていけるが、9月以降は不安である。良くなる目は無いという意味で、変わらない。もしくはもっと悪くなる。店舗の改装を行い、商品のてこ入れもした、人員の整理も終えた、後は何ができるのか、という状況である。
		商店街（代表者）	・今春の賃上げ状況を見ると、ベースアップ無しの回答が多く、賞与の額も減少しそうである。また社会保険料も増額となるため、この先の消費意欲は沸かない。
		百貨店（広報担当）	・銀行問題や株価などの外的要因に少なからず影響されている。これらが改善されているという印象が浸透すれば、若干は良い方向に向かう。 ・内的要因としては、価値消費に対する対応がそれぞれの業界や店舗でできるかという事がポイントとなってくる。
		百貨店（販促担当）	・SARSの影響は払拭されないが、株価の下落や選挙の買い控えなどに歯止めがかかり、今後の中元商戦も厳しいとはいえ前年確保は難しくない状況である。
		スーパー（経営者）	・今の状況からすると、多少の外的な要因、経済環境や社会環境などで少々の変化があっても、客の消費トレンドやマインドにはあまり影響を与えず、堅実でシビアなままである。
		スーパー（企画担当）	・明らかなオーバーストア状態の中、客の選別が進んでいる。選択してもらう店になるためには、今後さらに価格対応やサービスのレベルアップが不可欠である。数字トレンドにはあまり変化は出ないと思うが、経営的にはますます厳しくなる。
		衣料品専門店（経営者）	・これから夏場に向かい、夏物の本格的な動きが出てくるが、需要の停滞も続いている。客の買い物の仕方が変わっており、サービス面や精神面には金を使うが、消費や衣類に関する買い控えが目立っている。
		衣料品専門店（総務担当）	・取引先の動きや、店舗への来客数および売上単価を見ても、明るい材料が無い。 ・業者では、単価を下げ取引を多くしたいという会社が増えている。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク戦争が終わってホッとしたのも束の間、SARSの追い討ちなど社会に安定感が無く、経済への影響が大きい。こうした不安定な状態は続く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・販売数量は上向くが、夏場の需要期に向けて競争が激しくなり、それに伴って価格競争が始まり粗利益が減少するという兆候が既に出ている。
		高級レストラン（支配人）	・宿泊については、昨年のワールドカップ関係の影響は6月まで続くが、他の販売チャンネルはほぼ前年並の予約を確保できている。 ・宴会は、9月に婚礼が苦戦する見通しであるが、ほぼ昨年並みの予約件数を確保できている。 ・レストランも昨年並である。
一般レストラン（経営者）	・依然として、食事を入れた注文で、酒ばかり飲んでいる客が多く、週2～3回の頻度で来店していた常連客が、週1回程度に減少している。		
観光型ホテル（経営者）	・予約状況は遅いが、現時点での7～9月の予約状況は前年比15%ほど少ない。 ・SARSについては、台湾や韓国などの客からのキャンセルはあるが、新しく新婚客の予約発生などで差し引きゼロの見通しである。		

	観光型旅館（経営者）	・人数を追い込んで、単価下落をカバーできない。核となる団体が減少しており、必然的に募集ものの占める割合が多くなっているが、催行が悪い状態である。 ・SARSの影響は微々たるもので、夏に期待をかけて、準備を進めているところである。
	旅行代理店（従業員）	・海外旅行でSARS問題が沈静化すれば、動きは良くなる。国内旅行への影響は少ない。
	通信会社（経営者）	・国際的にはSARS問題や、国内では大手金融機関の大幅赤字決算など社会的ムードが悪く、庶民の購買意欲も沸いてこない。
	観光名所（職員）	・SARSの収束が見えない状況で、外国人客の減少が続いている。 ・国内旅行へのシフトも少なく、首都圏への集客を招いているだけである。
	住宅販売会社（経営者）	・土地無し客が増え、着工までに時間を要するようになっている。 ・展示場を撤退するメーカーも出ているが、来場者数や成約数などは悪くない。 ・公庫よりも低い金利のローンが出ており、業界にとっては追い風であるが、競争も激しくなっている。
やや悪くなる	一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・当社はサッカー用品専門店であるが、SARSの影響で国際試合が延期になり、インターネット通販で日本代表のユニフォームが売れなくなっている。
	百貨店（企画担当）	・競合店のオープンが間近に迫っており、来客数の減少に歯止めがかからない。賞与の支給額が伸びない中、賞与時の年金や保険料負担額が増えるため、景気が良くなる要素が見当たらない。
	衣料品専門店（店長）	・こうした経済下であり、パーゲンの訴求は客の支持を得られるが、その前後も含めたトータルでは厳しくなる。
	家電量販店（店長）	・買い控えや、検討中というものもあるが、諦めのような話も下見客から出てきており、かなり厳しくなっている。
	自動車備品販売店（経営者）	・例年この時期は、当業界は物が動く時期であるにも関わらず、動いておらず、今後は動かない時期に入るので、もっと動かなくなる。
	住関連専門店（経営者）	・これからセール時期に入り、今まで以上の単価低下は予想されるが、数量の増加は期待できない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・発泡酒などの増税に加え、7月からはタバコの増税になる。こういった時期にマインドを冷やすような増税ラッシュになっている。景気は気から来ると言われており、そこを良く考えて施策を打ってほしい。
	その他専門店〔酒〕（営業担当）	・中元商戦は年々確実に悪くなっている。一般客以外はかなり絞り込んでおり、プラスになるということはないが、マイナス幅は小さいと見ている。
	その他飲食〔そば〕（経営者）	・SARS、増税、株価など不安要素ばかりが多く、これから更にオフィス人口が減少すると心配である。先行きは厳しい。
	観光型ホテル（スタッフ）	・具体的には予約数、売上の低下傾向が変わっていない。SARSのプラス影響は数字としてはほとんど出ていない。
	都市型ホテル（経営者）	・予約状況が前年に比べ、悪くなっている。 ・SARSの影響も当面続き、企業倒産も身近で続く。出入り業者の話では、仕事があればいい方で、毎日仕事を探すのが大変で、いつ仕事が絶えるか心配だという話であり、良くはない。
	都市型ホテル（経営者）	・2～3か月先は、閑散期である。掘り起こし対策として、昨年実績のあったところに営業を掛けているが、不透明感が強く、例年に比べても動きが悪い。
	都市型ホテル（スタッフ）	・市内の企業の賞与がかなり抑制されるという噂である。 ・SARSの影響で、一生に一度の披露宴で、海外に行けると思っていた人がやむを得ず国内に振り替えている場合が多い。
	通信会社（営業担当）	・固定電話のIP電話化の流れが急激に早まっている。
通信会社（営業担当）	・SARSなどの影響で、売上が落ち込んでいる企業があり、全体的に向上する見通しが立っていない。	
テーマパーク（職員）	・SARS問題で、国の対応が明確にならないと不安である。日本人として海外のSARSに対し、かなり敏感になっている。	
悪くなる	百貨店（企画担当）	・銀行の貸し渋りや、SARSなどによる景気の沈滞などがあり、悪くなる。

		スーパー（経営者）	・当社の3月決算は、増収増益であったが、県内企業全体としては業績が上がるどころには至っていない。 ・個人の可処分所得は減少傾向にあり、将来不安による買い控えはまだ続く。業界間の競争激化や買上個数の減少などの要因から、今後の回復は困難である。
		スーパー（店長）	・3か月以内に、競合店が出店する。また同じ商圈の中で自社競合が2店舗できる。企業としてはドミナントエリアでの商圈づくりとなるが、店舗単体としては、前年並みの売上確保も難しい状況が続く。
		住関連専門店（経営者）	・知事が辞任したため、また選挙がある。選挙があると売上が減少するため、困っている。
		観光型旅館（経営者）	・SARS問題で、関西方面で大変な風評被害があった。その分が東北に観光客がシフトしたわけでもなく、逆に旅行に対する不安を口にする客が増えている。 ・先日の地震で、直後の直接キャンセルはあまり発生していないものの、数か月以内に宮城県沖地震が発生するという噂が流れ、不安により予約を控える動きが出ており、宿泊客の減少が懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・SARS騒ぎが収まらないうちは回復しない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・酒類業の規制緩和が進んでいるが、必ずしも新しい市場創造にはつながっていない。消費も地震の被害などにより、厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ますます短納期対応の要求が多くなっている。これに見合うコストの確保ができない状態で、業績は厳しい。一部中国市場からの国内シフトが出てきているが、まだまだ仕事量は少ない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・今後3か月間の受注量は、今月よりはやや増える見込みであるが、最近の景気の冷え込みやSARSの影響で、下方修正の懸念が多々ある。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・当面は、横ばい状態が続く。集金時の対話の中でも景気の良い話が出ないので、このままで推移する。 ・南三陸沖地震の影響で、保全や修復のための購買活動は活発になるが、他を控えるため、全体では変わらない。
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・受注量の減少から、メーカーの淘汰がさらに加速しつつある。アパレルも同様である。消費低迷が続く折、人件費などの削減も限界となっていてメーカーが増えている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・為替が今の水準で推移した場合、輸出環境の悪化で採算が悪くなる。 ・SARSによりアジアや中国での生産に影響が出て、当社からのアジア向け輸出が減少する可能性がある。
		輸送業（従業員）	・SARS長期化の影響により、輸出貨物量にも変化が出てくる。やがてコスト削減や値引き交渉に入ると思う。
	悪くなる	広告代理店（従業員）	・得意先を回っている今後の情報に、特記事項はなく、現状では昨年実績を10～15%割り込む見通しである。
		公認会計士	・事業収支のバランスを取るのに、増収策が見いだせず、支出の削減策が主体となっている。
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・各企業の好決算を受け、新しい人材を求めようとする動きが目立っており、今後少しは上向く。
		人材派遣会社（社員）	・当社の取引先で、中途採用も積極的で、高スキルの派遣社員受け入れにも積極的な企業がある。
		人材派遣会社（社員）	・スタッフの契約期間が3か月サイクル、半年サイクルでの更新が多く、企業側へも提案しやすく、また他社で終了するスタッフの獲得もしやすい。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣利用の裾野は広がりつつあるが、他社との競争が厳しく、取ったり取られたりで見えない状況である。
		アウトソーシング企業（社員）	・価格破壊の底が見えてきており、当社もその対応が出来てきているので、付加価値を付けていけば何とかなる。
		職業安定所（職員）	・経済環境やSARSの影響から、企業の雇用マインドは低い。またSARSの影響で、旅行者2社で人員整理が行われる。
	職業安定所（職員）	・リストラが一巡し、求職者数は減少傾向にあるが、企業では中期的展望が見えないため、求人の増加につながらず、非正規型での雇用形態による採用が依然として増えている。	

	職業安定所（職員）	・ 3か月前に比べ、求職者数は増加しているが、在職求職者や無業者（長期失業者を含む）の占める割合が高い。 ・ 相談待ちの人数に変動がなく、また相談をせずに自己検索装置で求人検索を行う者が多い。
	職業安定所（職員）	・ 求人数が増え、求職者数が減る傾向にはあるものの、株安や不良債権、デフレ、SARSなどの問題があり、不確定な状況になっている。
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・ 前年のサッカーワールドカップの効果が無い分、またSARSなどの影響が工業だけでなく、多方面で出ており、全体的に厳しくなっており、採用にもその影響が出てくる。
	職業安定所（職員）	・ SARSの影響から、心理的に旅行や買い物を控える動きが出ており、サービス業を中心とした集客の低下が懸念される。
悪くなる		